



取材日 10月11日

撮影地 遊佐町下藤崎 鈴木さんのハウレンソウハウス



西遊佐・下藤崎

# メロン栽培42年 美味しく高品質な メロンを作り続ける

鈴木一弥さん

昭和33年生まれ。耕作面積約480a。主な栽培作物は水稲(はえぬぎ)176a、飼料用米122a、メロン約70a、スイカ約60a、ダイコン約50aなど。JA庄内みどりメロン専門部部长、遊佐メロン根菜専門部部长、農事組合法人アグリ南西部理事、遊佐町農業委員を務める。

## 安定した品質の メロン栽培に取り組む

**組合長** 鈴木さんとは高校時代同級生でしたね。

**鈴木** 同じクラスになったことはなくても、私はバスケットボール、組合長はバレーボールと体育館では顔を合わせていましたね(笑)。高校卒業後、いったん会社に勤めて、本格的に農業を始めたのは21歳頃でした。

**組合長** 農業歴42年、大ベテランですね!メロンは今年どうでしたか?

**鈴木** 今年は品質・価格ともにメロン農家として最高の年でした。着果も良く、贈答の需要が高まったことが大きかったと思います。スイカも今年は「ピノガール」を作って高く売れ、本当に良かったです。

**組合長**

「ピノガール」は小玉スイカでしたね。種が小さくて食べることもできるということでしたね。

**鈴木** 種が小さい分、果実にすき間が少ないため、日持ちするので贈り物にも適しています。

**組合長**

それはますます人氣が出そうですね。鈴木さんは当JAのメロン専門部の部長を務めていますが、メロン栽培で特にこだわっていることはありますか。

**鈴木** 一株一株の品質がそろうように特に気を付けています。どのメロンを食べても美味しいメロンを目指して栽培しています。腐敗果など、病気が出ないように時期を守って防除を行っています。ただ、収穫時期になると午前中はメロンを出荷し、

午後からはスイカを出荷しています。防除などの作業を出荷の合間にするのが大変です。

## 人材不足と選果場の老朽化

**組合長** 今後面積拡大は考えていますか。

**鈴木** 後継者がいなく、家族で従事しているのですが、面積拡大には人手が足りず現状維持が精いっぱいです。私が所属している法人でも、先日従業員が1人退職し、今後どうしたら良いか悩んでいます。

**組合長** そうなんです。新しい人が来ても、まずは一年の流れを覚えるところから始まるので、育成に時間がかかりますね。

**鈴木** 法人では水稲以外にパプリカやアスパラガスも栽培しているので、一年ごとにそれぞれのこと

を勉強する必要があります。

# 爽やかな秋空のもと 新ソバ収穫



10月14日、爽やかな秋空のもと松山地区山寺では農事組合法人山寺ファームの6人がソバ「でわかおり」の収穫を行いました。

庄内平野を望む中山間の急な傾斜が特徴の圃場では、3台のコンバインを稼働して収穫作業を行っていました。同ファームの後藤薫さんは「今年は大きな災害もなく好天に恵まれたため、順調に生育し収量も上がっている。無事に収穫を迎えられてうれしい」と話していました。

同ファームでは今年組合員29人が約36haで栽培。収穫作業は1週間ほど続きました。



▲ソバの実

法面の高い場所では  
繊細な作業が要求されます▶



## みどり

2021 No.331

## CONTENTS



- 02 組合長が聴く！
- 03 表紙説明
- 04 ニュース&トピックス
- 06 2021年グラウンド・ゴルフ他特集号
- 07 小学5年生が稲刈りを体験
- 08 園芸生産拡大への道／ピックアップアイテムズ
- 09 農機集約/法務局からのお知らせ
- 10 みどりサービス通信/共済講座
- 11 JAネットバンクの便利な機能
- 12 みんなのふれあいひろば/読者からのおたより
- 13 ベジタブルライフ/家族の健康
- 14 クロスワードパズル /お米を食べよう！レシピ
- 15 インフォメーション/理事会だより
- 16 マイカーローン

**組合長** 管内の選果場の老朽化について、機械が故育成には特に時間を要します。人材を定着させることの難しさを実感しています。自分の経営については、現状の人手でメロンとスイカの今の面積を維持するには、選果場があり共同選果することが前提となっています。選果場の老朽化を何とかしてほしいです。

障しても部品がないなどの声が届いています。しかし、当JA単独で新たな選果場を建設するのは難しい状況です。「庄内柿」「庄内メロン」と名前が付いているので、庄内一カ所に集約して選果する体制になれば、JA全農山形と連携して新たな選果場を建設することが可能になるのではないかと考えています。庄内全体

のJAが一丸となる必要があるので、選果場の問題について声をあげ続けていきます。  
**鈴木** 生産者としては早い解決を望むので、ぜひお願いします。選果場のこと以外では、農薬のラベルについて、ラベル裏面にも表示があり、ラベルをはがして見なければならず、購入の時に確認しにくいので困っています。

間違えたり必要のない農薬を購入する危険もあるので、資材店舗に見本を置いていただけると助かります。しっかりと確認できるといいですね。各資材店舗ごとの売れている農薬が違うので、よく出るものを中心に確認用の見本を用

意できるか検討します。  
**鈴木** これからも、美味しく高品質なメロンを栽培していきますので、よろしくお願いします！  
**組合長** 一緒に頑張りましょう！



※JAは組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立を目指しています。  
※アクティブ・メンバーシップとは、組合員が積極的に組合の事業や活動に参加することです。JAは組合員の「声」を聴き、組合員に評価され愛される事業や活動を展開します。  
・JAは自己改革の着実な実践と情報発信を行っていきます。